

アダルトサイトの相談 5年連続トップ

全国の消費生活センターなどに寄せられた相談内容の内訳で、アダルトサイトに関するものが、2015年度まで5年連続で最も多かったことが国民生活センターのまとめで分かった。

アダルトサイトにアクセスする意図がなくても、サイトへ誘導されるケースもあり、国民生活センターは「サイト内のボタンを安易にクリック・タップせず、『退会・解約』などの案内が表示されても業者に連絡しないで」と呼びか

国民生活センターまとめ

けている。

国民生活センターによると、商品・役務別の内訳では、09、10年度はサラ金・フリーローンに関する相談がもっとも多かったが、11年度以降はアダルトサイトが1位。15年度は全相談件数約92万6千件の1割を超える9万5549件にのぼり、男性は全ての年代で、女性でも40歳代までの各年代でアダルトサイトに関する相談が最多だった。

今年7月に受けた相談では、新

潟県の40代の男性がスマートフォンでアダルトサイトの広告をタップしたところ、シャッター音が鳴って「登録完了。誤作動の場合は取り消すので電話を」と表示された。電話すると、「自分でタップしたのだから誤作動ではない」と言われ、請求された15万円を支払ったという。

国民生活センターによると、サイトにアクセスしただけでは個人情報 that 特定されることは少なく、不安になった消費者が業者に連絡し、電話番号などの個人情報聞き出されるケースが目立つとい